



若山 加代子 議員

今こそ福祉灯油を 実施すべき

福祉灯油について

【問】12月の灯油価格は1リットルあたり99円、18リットルで1782円で、平成19年、20年よりも高い。

一方、低所得世帯の収入は減っていて、生活は厳しくなっている。市民の健康維持のためにも灯油券の発行をすべきでないか。

【答】予測では、今後3月までにかけて大幅に上がる見込みはないと判断している。福祉灯油券の配布は考えてない。

高山市平和の日と憲法について

【問】政府自民党の憲法改正案は、第9条を変え、国防軍を持ち戦争することも憲法で認め

る内容だ。自民党が示す憲法案は、高山市平和の日の理念とは真つ向から反するものだと思うが、市長はどう考えているか。

【答】日本の平和は、戦争以来国民の不断の努力と日本国憲法の平和主義によって守られてきていると認識している。その大きな力になっているのは第9条。高山において観光産業をならしめているのは平和であるからこそというスタンスでいる。平和ということに常に意識を持ちながら、憲法改正の議論にも関心を持ち、注意を払っていく必要がある。

国民健康保険料について

【問】市は国民健康保険料の引上げを検討しているが、国保会計の現状は。また負担増により、ますます苦しい生活になることも考えられる。負担軽減を目的とした一般会計からの繰入を検討できないか。

【答】国保の財政状況について、医療費は高齢化と高度化により年々増加傾向にある。一方保険料は減少傾向で、平成20年度から4年連続して単年度収支が赤字である。これまで不足分を財政調整基金で賄ってきたが、年々増加する医療費によって、平成26年度で財政調整基金が底をつく見込みとなり、国保事業を行うことが限界の状況にきている。福祉医療波及分以外の繰り入れを行うことは厚生労働省の指導により実施すべきでないと考えている。



山腰 恵一 議員

希少金属の再資源化を

使用済小型家電のリサイクルの推進

【問】携帯電話やデジタルカメラ等に含まれる希少金属など、その大半はリサイクルされず埋め立て処分されている。国では再資源化を促進するため、「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」を平成25年4月1日より施行した。この法制度を踏まえ、どう検討されているか。

【答】平成26年4月1日から実施できるよう、回収品目・方法など検討を進めている。

【問】回収方法では、ボックス回収、ピックアップ回収、ステーション回収、イベント回収などがあるが、本市にあった品目の選定と回収

の方法は。

【答】リサイクル法の対象は、28分類100種類以上であり基本的には全ての品目を回収したい。回収方法は、効率性、利便性など踏まえ最適な方法を選択したい。

災害時要援護者の避難対策

【問】災害弱者である「要援護者」が迅速に避難するための名簿整備が進められている。進捗状況は。

【答】65歳以上の登録希望者の把握は6月末に終えた。また障がいのある方の登録については、障害福祉サービス提供事業者等の協力を得て希望される方の把握に取り組んでいる。

【問】各関係機関が「要援護者」の情報を共有するようになるが、個人情報との秘密保持をどうとらえるか。

【答】災害時要援護者情報の管理方法や保管方法などについて定めた「覚書」を取り交わし個人情報保護を進めた。

【問】避難支援や避難経路など具体的な内容を定めた個別支援計画の策定方法と進捗状況は。

【答】現在、策定には至っていないが、「災害時要援護者支援対策協議会」において策定を進めたい。

【問】災害時、避難生活の長期化が想定される場合に要援護者を適切な施設に避難させる福祉避難所の検討状況は。

【答】福祉避難所については、ハード面、ソフト面も合わせ、検討をしている。

